

廃止措置からつなぐ原子力の未来

「ふげん」・「もんじゅ」で進める廃止措置を**新たな価値を創り出す“はじまり”**とするため、安全を最優先に、廃止措置を通じて得られた技術や知見を**“原子力のサステナブルな未来”**へつなげていきます。

安全かつ合理的な廃炉技術の確立

- 日本初の大型水炉の廃止措置先行例として、他の原子力発電所でも活用可能な、安全かつ合理的な廃炉技術の確立
- 現在、原子炉建屋内で冷却系配管や大型機器等の解体撤去を着実に推進
- 解体等で発生したクリアランス金属を再利用した製作物を、県内各所に設置・展示



廃止措置計画の第2段階を開始

- 第1段階の燃料体取出しが2022年度に完了し、2023年度から第2段階に移行
- 現在、しゃへい体等の取出しや、水・蒸気系発電設備の解体等を実施。今後ナトリウムを英国へ搬出する計画
- 日本初のナトリウム炉の解体で得られる知見を「解体しやすい＝経済的な次世代炉の設計」に着実に反映



廃止措置の工程

